

2022年度 宮城県高等学校新人大会水泳競技大会 代表者会議

(令和4年9月1日(木) 午前11時00分 於 セントラルスポーツ宮城G21 プール大会議室)

◎会議次第

挨拶 (高体連水泳専門部長, 県水連会長)

- I 一般的注意事項
- II 競技について
- III 開始式・閉会式・表彰について
- IV 会場使用上の注意について
- V 開門・練習時間について
- VI 健康観察について
- VII 館内への入場制限について
- VIII 連絡事項
- IX 各担当より確認事項【控え場所・補助員・お弁当・記録・応援席等(別紙参照)】
- X その他(質問等)

I 一般的注意事項

- 1 選手はスポーツマンとして、また、高校生としての自覚を持ち、学校の代表として、誇りをもって責任ある行動をとるように心がけること。
- 2 見苦しいもの、不謹慎な水着の着用は禁止する。審判長は、規定に違反する水着を着用した競技者の出場をやめさせることができる。
- 3 1) 身につけてよいマークは以下のものとする。
 - ①自分の氏名、所属学校の名称やマーク。
 - ②国旗・国または地域の名称(自国でなくてもよい)、都道府県や市町村の名称やマーク。
 - ③公式・公認競技会のシンボルマークや日本水泳連盟が認めたもの。
 - ④事前に届出承認がされているスポンサーロゴ。2) マークの大きさや数の制限
 - ①水着: すべて50cm²以内で1カ所。ワンピース水着はウエストより上に1つ、ウエストより下に1つ許され、ツーピース水着の場合は、上部に1つ、下部に1つ許される。ただしこれらの商標名は相互に隣接しておくことはできない。
 - ②ウェア: メーカーのロゴ・マークは40cm²以内で1カ所。マークは20cm²以内であれば数に制限なし。自分の氏名や所属名、国旗・国または地域等の名称やマークは大きさと数に制限なし。
 - ③その他のもの: メーカーのロゴ・マークは20cm²以内で1カ所。マークは20cm²以内であれば数に制限なし。自分の氏名や所属名、国旗・国または地域等の名称やマークは大きさと数に制限なし。
- 4 高校の大会に出場する選手は、参加申込みをした団体以外の商標・商標名を付けてはならない。たとえば、高校所属の選手として出場する場合には、『選手が通っているスイミングクラブ』などの商標名のついた水着・トレーニングウェアなどを着用してはならない。

II 競技について

- 1 本大会は、(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にもとづいて行う。
- 2 競技はタイムテーブル通りに進行する。なお、競技の進行に留意しながら時間に十分に注意し、招集に遅れないこと。
- 3 競技は予選・決勝ともに8レーンで行う。**400m以下の個人種目は予選・決勝**を行うが、**女子800m自由形・男子1500m自由形及びリレー種目についてはタイムレース決勝**とする。
- 4 予選で同タイムにより8名(8チーム)を超えた場合には、スイムオフにより決勝進出者を決定する。

該当選手はレース終了後直ちに、顧問を伴って記録室前に集合すること。予選9位、10位のは補欠1、2となる。同タイムにより順位をつける場合は抽選を行う。抽選対象者の1名が来た時点で名前と到着時間を確認し、その後15分経過した時点で、もう一方の対象者が来ない場合は、審判長の責任において本部が代理抽選を行う。

- 5 FINAのマークが見えづらい水着を着用して試合に出る場合は、招集所で水着の型番を確認するので、申請用紙に必要事項を記入の上、招集所に持参すること。
- 6 通告・記録の発表は次のとおりとする。
 - (1) OP種目を除いては予選、決勝ともに選手紹介を行う。また決勝進出者は種目終了後に通告で発表し、速報板に掲示する。
 - (2) 途中時間(200m以上の種目)・正式時間(リレーの第一泳者)はレース中に通告する。
 - (3) 新記録及び失格者の通告はその都度行う。
 - (4) 手動計時を採用した場合は、その記録を通告する。
 - (5) 記録・競技結果は、1F速報板に掲示する。
- 7 スタート等について
 - (1) 選手は入場して自分のレーンについてからマスクを外すこと。
 - (2) スタート前に競技用レーンで着水・入水することは禁止する。各レーンともバケツの水を利用すること。
 - (3) スタート(出発)は1回とする。スタートの号令は「Take your mark(s)」で行う。
 - (4) 背泳ぎのスタート前の入水は必ず足から入水し、バックストロークレッジを使用する場合は必ず足の指をタッチ板につけること。また、使用しない場合は折返監察員に申し出ること。
- 8 ゴールについて
 - (1) 本大会は全自動審判計時装置を使用する。
 - (2) ゴールタッチは確実に行うこと。
 - (3) ゴール後の退水は自レーンから行うことを原則とするが、横からの退水を審判長及び折り返し監察員が許可した場合は横から行う場合もある。

リレー競技については、引き継ぎの判定ならびに全自動装置の作動を妨げないように、特に気をつけること。
- 9 招集・棄権・訂正について
 - (1) 招集は、出場する本人が自分の競技開始10分前から招集所で行う。
 - (2) 招集所にADカードを忘れずに持参すること。また、マスクを必ず着用してくること。
 - (3) 競技の際は、水着でプールサイドに入場する。招集所で脱いだ衣類はサブバック等に入れて各自管理すること。
 - (4) リレー種目のオーダー用紙は、レースの1時間前までに招集所に提出すること。リレーオーダー用紙には、本大会の選手登録番号を必ず明記すること。
 - (5) 棄権・訂正がある場合は、棄権・訂正用紙に記入し、競技開始1時間前までに招集所に届けること。
 - (6) 決勝の場合には、補欠1・補欠2の者(チーム)も点呼を受けること。
 - (7) 決勝を棄権することはできない(例外として急な傷病等が起こった場合は、医師または救護係の意見により棄権できる。ただし、できるだけ速やかに大会本部に届け出ること。リレーオーダーの提出後に同様に事例が発生した場合は、競技規則に従い、同様の手続きにより当該選手に限り変更することができる)。
 - (8) **決勝種目は、第1補欠・第2補欠の者(チーム)も点呼を受けること。**
- 10 男子1500m自由形、女子800m自由形において、制限タイム(1500m-25'00", 800m-15'00")をオーバーすることが明白になった場合は、途中でレースを中断することがある。
- 11 その他
 - (1) テーピングは認めない(絆創膏なども事前に審判長に申し出て許可を得ること)。
 - (2) 一時的に競技力の向上を図る目的で、薬物や嗜好品を使用することを禁止する。
 - (3) ピアス、ネックレス、マニキュア、ペディキュア等をして出場することを禁止する。
 - (4) 作為により、自己の競技能力を低下させないように注意すること。

- (5) ADカードは常に携帯すること。招集所に来る際にもADカードを首から下げておくこと。
- (6) 館内ではマスクを着用すること。招集所に来る際にもマスクを忘れずに着用してくること。
- (7) 記録・結果については1F速報板に掲示する。

III 開閉会式及び表彰について

1 開始式

- (1) 選手はプールサイドに整列せず、優勝杯返還・宮城県高体連水泳専門部部長挨拶・選手代表宣誓のみとし、競技開始10分前の13:20から行う。
- (2) 選手代表宣誓は前年度優勝校（男女隔年毎）のキャプテンが行う。（東北高校 高橋安久里 選手）

2 閉会式

- (1) 学校対抗の成績発表は行う。
- (2) 学校対抗の表彰は男女3位までで行う。学校対抗3～8位までに入賞したチームには賞状を授与するので、競技終了後に賞状引渡所で賞状を受け取ること。
- (3) 功労賞の授与式は行う。

3 表彰について

- (1) 表彰式は行わず、3位までに入賞した選手を表彰台にて紹介する。
- (2) OP種目の紹介は行わず、3位までの選手に賞状を授与する。
- (3) 功労賞受賞者については各学校顧問の推薦書により選出し、受賞者の表彰は閉会式で行う。
[推薦書は9月2日（金）正午まで、賞典の敦賀先生に提出すること]

IV 会場使用上の注意について

- 1 場内指令員の先生やプール担当者の指示に従うこと。
- 2 スタンドでの飲食は禁止とする。
- 3 ゴミは各チームで必ず持ち帰ること。※各チームでゴミ袋等を控所に設置し、対応すること。
- 4 各学校の控所は開門（入場）後に設置でき、1日（木）から各学校の責任のもと、荷物を置いておくことができる。ただし、紛失しても責任はもてないので注意すること。また、荷物を置いて帰る場合には使用した毛布を畳むなどきちんと整頓すること。練習道具などの私物は置いて帰らないこと。
- 4 ゴミは各チーム必ず持ち帰ること。*各チームでゴミ袋等を控所に設置し、対応すること。
- 5 備え付けのコンセントは使用しないこと。
- 6 **サフプールの観覧席は利用できない。ガラス窓の前にマネージャー席を設置し、各校2名の利用を許可する。**
- 7 更衣室はメインプール及びサブプールの更衣室を使用すること。更衣室では着替えのみとし、荷物を置きっぱなしにしないこと。また、ロッカーを長時間占有することも禁止する。譲り合って使用すること。
- 8 アリーナはプールサイド全域とするので、アリーナ内には、許可なく役員および出場選手以外の者は立ち入らないこと。なお、プールサイドは素足であること。ペットボトルの持ち込みも禁止する。
- 9 プールに入る前は、必ずシャワーをあびること。
- 10 声を出しての応援は慎むこと。また、食事をする際には「黙食」を実践すること。
- 11 更衣室を使用する際には会話は慎むこと。マスクを着用し、感染症対策に努めること。
- 12 各チームとも体調管理にはとくに気を付け、水分補給はこまめに行うこと。体調がすぐれない場合には決して無理をせず、すぐに顧問の先生や競技役員に申し出ること。また、嘔吐物等が見られた場合は触らずに、すぐに報告すること。怪我や体調が悪くなった場合は、大会本部に看護師が常駐しているので医務室を訪れること。
- 13 不審者等を見かけたら、競技役員・プール監視員に速やかに連絡すること。
- 14 選手等の荷物を狙った財布・現金等の抜き取り、置き引き等の事案がスポーツ関連イベントで発生しているため、貴重品管理（水着等も含む）を徹底すること。隣接している体育館側には鍵付きのロッカーが設置されているので、そちらを有効活用すること。

- 15 今大会ではADカードが撮影許可証を兼ねるので、撮影を行う際はADカードを首から下げて見えるようにしておくこと（首から下げて見えるようにしておくこと）。
- 16 館内は熱中症予防のため冷房を入れるが、感染症予防対策の換気のため、ドアは定期的に開放する。 ドアおよび排煙窓の開閉は競技役員が行うので勝手に操作しないこと。

V 開門・練習時間について

- 1 大会期間中の会場開門は、2階入口2カ所とする。入場時には検温を行い、手指消毒を徹底すること。入場の際は係りが誘導するので指示に従うこと。*入場を待つ間は前後の人と1m以上の間隔をあけること。
- 2 入場の際には、ADカードの記載事項を確認するので、記入漏れのないようにしておくこと。常任委員の指示に従って入場すること。不備がある場合には入館を許可できないので注意すること。
- 3 朝のプール利用時間と練習開放時間（*パドルの使用は禁止する）

	開門	W-Up 終了	公式スタート練習	退館時間
9月1日（木）	10:30	13:00	① 11:10～11:30 ② 12:30～12:50	18:00
9月2日（金）	7:00	8:40	8:00～8:30	18:00
9月3日（土）	7:00	8:40	8:00～8:30	16:30

※当日レースがない選手がプールを使用できるのは下記の時間帯とする。

9月1日（木）10:30～13:00 および競技終了後 17:05～17:50

9月2日（金）予選終了後 11:45～12:45 および競技終了後 16:35～17:45

※初日のプール開放及び朝のアップ時の公式スタート練習は、5～8レーンを利用する。利用状況によりダッシュレーンを増やすなどの対応を行う（ダッシュレーンでは必ず25m泳ぎ、すみやかに上がること）。

- 4 朝のウォーミングアップができるのは、当日にレースがある選手のみとする。レースの有無についてはADカードで確認するので、常に携帯すること。
- 5 アップをする際にはパドルの使用は禁止する。また、飛び込みも禁止する。
- 6 夕方のプール開放時にもADカードを持参すること。また、プールで生徒だけが泳いでいることのないように顧問が最後まで練習に付き添うこと。
- 7 朝のアップで使用するレーンは次の通りとする。
※1～3レーン：女子、4～8レーン：男子
公式スタート練習は3～5レーンを使用し、混雑状況に応じて増やす。
※常時ダッシュレーンの設定は行わないが、状況を見て設置する場合もある。

VI 健康観察について

- 1 大会参加に関する確認書・同意書（A4版：両面1枚）について ***顧問も含め、全員が記入**
 - (1) **令和4年8月29日（月）、もしくは8月30日（火）に記入。** *それ以前には記入しないこと
 - (2) 大会に参加する人は必ず提出すること【選手・マネージャー・補助員は保護者の署名捺印が必要】。
 - (3) 顧問は**全員分を回収**し、代表者会議の際に提出すること【提出先：大会議室】。
- 2 健康観察報告書（A4版：片面1枚）について ***顧問も含め、全員分の氏名を必ず記入**
 - (1) 健康観察報告書は、大会一週間前の8月30日（火）から9月3日（土）まで、毎朝生徒に体調を確認したうえで顧問が内容を記載すること。
 - (2) 大会最終日に必ず1Fロビー受付に提出してから帰ること。
- 3 ADカードについて
 - (1) 裏面の「健康観察チェック表および体温」等は、大会2日前から必ず記入すること。忘れずに署名すること。
 - (2) 大会最終日に顧問が全員分を回収し、退館する際に提出すること【提出場所：1Fロビー受付】

Ⅶ 館内への入場制限について

本大会は、本県を含めた全国的な新型コロナウイルス感染拡大を踏まえて、下記のように対応する。

- (1) 2022 年度宮城県高等学校新人大会水泳競技大会は「無観客」とし、選手（マネージャー等含む）・監督コーチおよび競技役員のみ入館とする。ADカードと裏面の健康チェック表の提示がない場合は入館することはできません。
- (2) 上記1の場合でも感染拡大防止対策等の条件を満たせない場合は、参加をとりやめてください。

Ⅷ その他

- 1 貴重品は各チーム及び各自できちんと管理すること。控え場所に貴重品（水着等も含む）を置きっ放しにしないこと。
- 2 各校、熱中症や体調管理に十分注意すること。体調がすぐれない場合には無理をせず、すぐに申し出ること。
- 3 乗降や荷物の積み下ろしは、道路ではなく、必ず駐車場内で行うこと。
- 4 プログラムは1冊500円で販売します。*決勝スタートリストは販売しません。
- 5 大会本部では一般競技役員にのみ保険をかけております。選手と引率教員に関しては怪我等があった場合には、基本的には学校保険での対応となりますので、ご承知おきください。
- 6 各学校の引率の先生は、何らかの審判もしくは競技役員として役割が入っています。もし、校務等で来られない日がある場合は、早めに各主任に申し出てください。プールサイドで審判・競技役員活動を行う場合は、室内用のシューズ（白色系）に履き替えて下さい。服装については、審判資格のある方は日水連の公式ユニフォーム、審判資格のない方は、公式大会で支給したユニフォームを着用してください。また、どちらもない場合は青か紺系統のポロシャツをお願いします。
- 7 顧問の先生には昼食が出ません。各自準備をお願いします。
- 8 今大会で忘れ物があった場合、一週間以内に申し出がない場合には処分するので注意すること。
- 9 各チームで控え場所に手指消毒剤を準備するなど、感染症予防にご協力をお願いします。
- 10 各学校の顧問の先生方は、年度初めの顧問会議でお渡しした「駐車許可証」を忘れずに持参してください。駐車する際には「駐車許可証」を見やすい位置に置いてください。
- 11 インターネット配信について
YouTubeにて全日の予選・決勝をLIVE配信します。（別紙参照）
- 12 第30回東北高等学校新人水泳競技大会について
①東北新人大会への出場権は4位まで入賞した選手（チーム）が獲得できる。同タイムにより4名（4チーム）を超えた場合でも4位までの出場を認め、順位決定のためのスイムオフは行わない。東北新人大会への出場権を得た選手・チームは、期限に遅れないように申し込み手続きを行うこと。
【男子1500m自由形と女子800m自由形及び男女4×200mフリーリレーは、実施しない。】
②学校行事等でやむなく出場できない場合は、新人大会期間中に大会本部（瀧場）まで申し出てください。その場合5位以下から順番に繰り上げ出場になります。

※ただし、社会の情勢により、大会の中止や延期または出場制限等を行うこともありうる。